



Title	夏に想う
Author(s)	岡本, 好勝
Citation	makoto. 1976, 15, p. 4-4
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86201
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

夏に想う

高柳市衛生部長

岡本好勝

今年も、蚊発生のシーズンの夏がやつて來た。防疫担当者にとっては、この時期が、一年中で一番忙しい季節である。「蚊」「はえ」「毒蛾」対策など、大量に發生する衛生害虫にたち向い、伝染病の発生——特に、予後の良くない恐い日本脳炎の発生は、近年予防接種の普及と環境整備がなされて近時發生は殆どないとは言うものの、絶対あつてはならない。こんな気持にかられる時期である。

ところで、大都市近郊のベッドタウンとして急速發展した本市のように、ここ十年ほどの間に、従前の人口の約二倍に近い人口増で、緑の山が宅地化され、田圃が埋め立てられ、しかも農地の中に虫食い状態で、住宅地が混在し、住宅地と農地との機能を併存せしめなければならぬような地域が、市域各所に生じることとなつた。一方これらに伴う都市施設の整備は追いつかず、特に下水道整備の遅れは、

家庭の雑排水路と農業用水路を、同一の水路でもつて、使用していかなくてはならなくなり、こ

れらのことなどより旧来の市民と新しい市民との間に各種の問題が生じ、特に、蚊の駆除対策において大きなズレが生ずるに至つた。

即ち、ボーフラ退治で水路に薬剤散布をすれば、流れている水路の場合、薬剤の効果的な問題があるとしても、これ以外に稻作用水の問題が生じ、田植時期から一定の期間は、散布まかりならないと言うこととなり、かと言つて、何んらかの措置をしないでおけば、新興住宅地目ざして蚊の大軍が飛来してくる有様で、行政としては、住民の情調査を行なうこととした。

その結果、非常に水路の汚だくが激しく、「ボーフラ」すら生息しておらない水路。「ボーフラ」が大量に發生している水路、更には、まだメダカなど魚

が住んでいて、「ボーフラ」は

上水路を三区分し得ることが分つた。しかし、問題は、汚だくされた水路で生息出来、かつ「ボーフラ」を大量に食い、繁殖力の旺盛な理想の魚は、はたして存在しているのだろうか。こんな

折も折一日に、ボーフラを三十

匹百二十匹を毎日反復して食べ、かつ二十度以上の気温であれば、年に四五回、一匹で八十匹百

匹前後產仔するアメリカ原産の、

しかも汚水にも強い「タップミノ

ー」「和名カダヤシ」の話を、防護協会のI氏より聞かしてい

ただいた。早速実験的に飼育さ

れていた大阪府より、「タップ

ミノー」を分けていただき、今

まで実態調査をしたそれぞれの

水路の水で飼育し、「ボーフラ」を餌として与えてみた。一見「メダカ」のような形の「タップミノー」は、予想どおり良く食べ、

汚だくされた水でも死ぬことな

く、水槽内で元気に泳ぎ廻り、

中には今にも仔を産みそうな、

大きな腹になってきたものもお

つた。首尾は上々、これで市民

に対しても、具体的な対策が説明

し得る。

そこで、早速この方式で「ボ

ーフラ」対策——蚊駆除対策を

実施しようと、既に成功されて

見当らない水路、大別すれば以上水路を三区分し得ることが分つた。しかし、問題は、汚だくされた水路で生息出来、かつ「ボーフラ」を大量に食い、繁殖力の旺盛な理想の魚は、はたして存在しているのだろうか。こんな

も、再度、徳島市の好意により、更に約二千匹いただき放流した。放流後、効果判定調査と生存確認調査を続けている。生

存している水路については、いずれも効果は上つてゐるが、中には水質汚だくが進んだめか、死滅したと考えられる水路や、

水路工事のために、他に流れていったのか、生存の確認されない水路もある。しかしそうでない場所においては、本市の水にもなれて、順調に育ち、かつ増え続けている。かかる上は、一日も早く徳島市のように、全市的に定着し、今後の蚊駆除対策の大きな武器の一つになるよう期待している。いずれにしても人工的な駆除対策は、即効的効果もあって、今直ちに止めることは不可能ではあるが、今後に

おいて、これだけではなく、自然のサーキルの中で、駆除対策が取れないものか、充分検討、研究すべきではなかろうか。

いる徳島市にまいり、現地も見

学をしていただき、約千匹の「タップミノー」をちょうだい

し、市内五ヵ所の水路などに放

流した。昭和四十七年九月のことであった。更に翌年において

も、再度、徳島市の好意によ

り、更に約二千匹いただき放

流した。放流後、効果判定調査と

生存確認調査を続けている。生

存している水路については、い

く思つたものである。

人口急増ラッシュがくるまで

は、蚊の駆除対策は、市街地の

みを対象とすれば良く、田舎の

水路は、魚がおつて、それが自

然と駆除してくれた。との先輩

の話。もう一度、自然な方法で

即ち「ボーフラ」を魚が食つて

くれないか。この方法であれば蚊の駆除は出来るし、農家にも問題が生じない。しかし都市化

は、水路の汚だくを来たし、既に魚の住むようなものではなくなつていい。しかし何んとかしなければいけない。このような

ところから、取りあえず、特に

苦情の多い南部地域の水路の実

情調査を行なうこととした。

その結果、非常に水路の汚だくが激しく、「ボーフラ」すら

生息しておらない水路。「ボーフラ」が大量に發生している水路、更には、まだメダカなど魚

が住んでいて、「ボーフラ」は

見当らない水路、大別すれば以上水路を三区分し得ることが分つた。しかし、問題は、汚だくされた水路で生息出来、かつ「ボーフラ」を大量に食い、繁殖力の旺盛な理想の魚は、はたして存在しているのだろうか。こんな

も、再度、徳島市の好意により、更に約二千匹いただき放流した。放流後、効果判定調査と

生存確認調査を続けている。生

存している水路については、い

く思つたものである。

人口急増ラッシュがくるまで

は、蚊の駆除対策は、市街地の

みを対象とすれば良く、田舎の

水路は、魚がおつて、それが自

然と駆除してくれた。との先輩

の話。もう一度、自然な方法で

即ち「ボーフラ」を魚が食つて

くれないか。この方法であれば蚊の駆除は出来るし、農家にも問題が生じない。しかし都市化

は、水路の汚だくを来たし、既に魚の住むようなものではなくなつていい。しかし何んとかしなければいけない。このような

ところから、取りあえず、特に

苦情の多い南部地域の水路の実

情調査を行なうこととした。

その結果、非常に水路の汚だくが激しく、「ボーフラ」すら

生息しておらない水路。「ボーフラ」が大量に發生している水路、更には、まだメダカなど魚

が住んでいて、「ボーフラ」は

見当らない水路、大別すれば以上水路を三区分し得ることが分つた。しかし、問題は、汚だくされた水路で生息出来、かつ「ボーフラ」を大量に食い、繁殖力の旺盛な理想の魚は、はたして存在しているのだろうか。こんな

も、再度、徳島市の好意により、更に約二千匹いただき放流した。放流後、効果判定調査と

生存確認調査を続けている。生

存している水路については、い

く思つたものである。

人口急増ラッシュがくるまで

は、蚊の駆除対策は、市街地の

みを対象とすれば良く、田舎の

水路は、魚がおつて、それが自

然と駆除してくれた。との先輩

の話。もう一度、自然な方法で

即ち「ボーフラ」を魚が食つて

くれないか。この方法であれば蚊の駆除は出来るし、農家にも問題が生じない。しかし都市化

は、水路の汚だくを来たし、既に魚の住むようなものではなくなつていい。しかし何んとかしなければいけない。このような

ところから、取りあえず、特に

苦情の多い南部地域の水路の実

情調査を行なうこととした。

その結果、非常に水路の汚だくが激しく、「ボーフラ」すら

生息しておらない水路。「ボーフラ」が大量に發生している水路、更には、まだメダカなど魚

が住んでいて、「ボーフラ」は

見当らない水路、大別すれば以上水路を三区分し得ることが分つた。しかし、問題は、汚だくされた水路で生息出来、かつ「ボーフラ」を大量に食い、繁殖力の旺盛な理想の魚は、はたして存在しているのだろうか。こんな

も、再度、徳島市の好意により、更に約二千匹いただき放流した。放流後、効果判定調査と

生存確認調査を続けている。生

存している水路については、い

く思つたものである。

人口急増ラッシュがくるまで

は、蚊の駆除対策は、市街地の

みを対象とすれば良く、田舎の

水路は、魚がおつて、それが自

然と駆除してくれた。との先輩

の話。もう一度、自然な方法で

即ち「ボーフラ」を魚が食つて

くれないか。この方法であれば蚊の駆除は出来るし、農家にも問題が生じない。しかし都市化

は、水路の汚だくを来たし、既に魚の住むようなものではなくなつていい。しかし何んとかしなければいけない。このような

ところから、取りあえず、特に

苦情の多い南部地域の水路の実

情調査を行なうこととした。

その結果、非常に水路の汚だくが激しく、「ボーフラ」すら

生息しておらない水路。「ボーフラ」が大量に發生している水路、更には、まだメダカなど魚

が住んでいて、「ボーフラ」は

見当らない水路、大別すれば以上水路を三区分し得ることが分つた。しかし、問題は、汚だくされた水路で生息出来、かつ「ボーフラ」を大量に食い、繁殖力の旺盛な理想の魚は、はたして存在しているのだろうか。こんな

も、再度、徳島市の好意により、更に約二千匹いただき放流した。放流後、効果判定調査と

生存確認調査を続けている。生

存している水路については、い

く思つたものである。

人口急増ラッシュがくるまで

は、蚊の駆除対策は、市街地の

みを対象とすれば良く、田舎の

水路は、魚がおつて、それが自

然と駆除してくれた。との先輩

の話。もう一度、自然な方法で

即ち「ボーフラ」を魚が食つて

くれないか。この方法であれば蚊の駆除は出来るし、農家にも問題が生じない。しかし都市化

は、水路の汚だくを来たし、既に魚の住むようなものではなくなつていい。しかし何んとかしなければいけない。このような

ところから、取りあえず、特に

苦情の多い南部地域の水路の実

情調査を行なうこととした。

その結果、非常に水路の汚だくが激しく、「ボーフラ」すら

生息しておらない水路。「ボーフラ」が大量に發生している水路、更には、まだメダカなど魚

が住んでいて、「ボーフラ」は

見当らない水路、大別すれば以上水路を三区分し得ることが分つた。しかし、問題は、汚だくされた水路で生息出来、かつ「ボーフラ」を大量に食い、繁殖力の旺盛な理想の魚は、はたして存在しているのだろうか。こんな

も、再度、徳島市の好意により、更に約二千匹いただき放流した。放流後、効果判定調査と

生存確認調査を続けている。生

存している水路については、い

く思つたものである。

人口急増ラッシュがくるまで

は、蚊の駆除対策は、市街地の

みを対象とすれば良く、田舎の

水路は、魚がおつて、それが自

然と駆除してくれた。との先輩

の話。もう一度、自然な方法で

即ち「ボーフラ」を魚が食つて

くれないか。この方法であれば蚊の駆除は出来るし、農家にも問題が生じない。しかし都市化

は、水路の汚だくを来たし、既に魚の住むようなものではなくなつていい。しかし何んとかしなければいけない。このような

ところから、取りあえず、特に

苦情の多い南部地域の水路の実

情調査を行なうこととした。

その結果、非常に水路の汚だくが激しく、「ボーフラ」すら

生息しておらない水路。「ボーフラ」が大量に發生している水路、更には、まだメダカなど魚

が住んでいて、「ボーフラ」は

見当らない水路、大別すれば以上水路を三区分し得ることが分つた。しかし、問題は、汚だくされた水路で生息出来、かつ「ボーフラ」を大量に食い、繁殖力の旺盛な理想の魚は、はたして存在しているのだろうか。こんな

も、再度、徳島市の好意により、更に約二千匹いただき放流した。放流後、効果判定調査と

生存確認調査を続けている。生

存している水路については、い

く思つたものである。

人口急増ラッシュがくるまで

は、蚊の駆除対策は、市街地の

みを対象とすれば良く、田舎の

水路は、魚がおつて、それが自

然と駆除してくれた。との先輩

の話。もう一度、自然な方法で

即ち「ボーフラ」を魚が食つて

くれないか。この方法であれば蚊の駆除は出来るし、農家にも問題が生じない。しかし都市化

は、水路の汚だくを来たし、既に魚の住むようなものではなくなつていい。しかし何んとかしなければいけない。このような

ところから、取りあえず、特に

苦情の多い南部地域の水路の実

情調査を行なうこととした。

その結果、非常に水路の汚だくが激しく、「ボーフラ」すら

生息しておらない水路。「ボーフラ」が大量に發生している水路、更には、まだメダカなど魚

が住んでいて、「ボーフラ」は

見当らない水路、大別すれば以上水路を三区分し得ることが分つた。しかし、問題は、汚だくされた水路で生息出来、かつ「ボーフラ」を大量に食い、繁殖力の旺盛な理想の魚は、はたして存在しているのだろうか。こんな

も、再度、徳島市の好意により、更に約二千匹いただき放流した。放流後、効果判定調査と

生存確認調査を続けている。生

存している水路については、い

く思つたものである。

人口急増ラッシュがくるまで

は、蚊の駆除対策は、市街地の

みを対象とすれば良く、田舎の

水路は、魚がおつて、それが自

然と駆除してくれた。との先輩

の話。もう一度、自然な方法で

即ち「ボーフラ」を魚が食つて

くれないか。この方法であれば蚊の駆除は出来るし、農家にも問題が生じない。しかし都市化

は、水路の汚だくを来たし、既に魚の住むようなものではなくなつていい。しかし何んとかしなければいけない。このような

ところから、取りあえず、特に

苦情の多い南部地域の水路の実

情調査を行なうこととした。

その結果、非常に水路の汚だくが激しく、「ボーフラ」すら

生息しておらない水路。「ボーフラ」が大量に發生している水路、更には、まだメダカなど魚

が住んでいて、「ボーフラ」は

見当らない水路、大別すれば以上水路を三区分し得ることが分つた。しかし、問題は、汚だくされた水路で生息出来、かつ「ボーフラ」を大量に食い、繁殖力の旺盛な理想の魚は、はたして存在しているのだろうか。こんな

も、再度、徳島市の好意により、更に約二千匹いただき放流した。放流後、効果判定調査と

生存確認調査を続けている。生

存している水路については、い

く思つたものである。

人口急増ラッシュがくるまで

は、蚊の駆除対策は、市街地の

みを対象とすれば良く、田舎の

水路は、魚がおつて、それが自

然と駆除してくれた。との先輩

の話。もう一度、自然な方法で

即ち「ボーフラ」を魚が食つて

くれないか。この方法であれば蚊の駆除は出来るし、農家にも問題が生じない。しかし都市化

は、水路の汚だくを来たし、既に魚の住むようなものではなくなつていい。しかし何んとかしなければいけない。このような

ところから、取りあえず、特に

苦情の多い南部地域の水路の実

情調査を行なうこととした。

その結果、非常に水路の汚だくが激しく、「ボーフラ」すら

生息しておらない水路。「ボーフラ」が大量に發生している水路、更には、まだメダカなど魚

が住んでいて、「ボーフラ」は

見当らない水路、大別すれば以上水路を三区分し得ることが分つた。しかし、問題は、汚だくされた水路で生息出来、かつ「ボーフラ」を大量に食い、繁殖力の旺盛な理想の魚は、はたして存在しているのだろうか。こんな

も、再度、徳島市の好意により、更に約二千匹いただき放流した。放流後、効果判定調査と

生存確認調査を続けている。生

存している水路については、い

く思つたものである。

人口急増ラッシュがくるまで

は、蚊の駆除対策は、市街地の

みを対象とすれば良く、田舎の

水路は、魚がおつて、それが自

然と駆除してくれた。との先輩

の話。もう一度、自然な方法で

即ち「ボーフラ」を魚が食つて

くれないか。この方法であれば蚊の駆除は出来るし、農家にも問題が生じない。しかし都市化

は、水路の汚だくを来たし、既に魚の住むようなものではなくなつていい。しかし何んとかしなければいけない。このような

</div